

長池駅南側周辺整備基本計画策定 にかかると基本方針(案)について

資料編

令和3年10月
城陽市

-目次-

はじめに	P1
1. 上位計画について	P3
2. 長池駅南側周辺の交通量調査の結果	P4
3. 長池駅南側周辺整備基本計画策定に関する「アンケート調査」の結果	P6
4. 基本計画策定に向けた方針について	P11

■ 長池駅南側周辺整備の目的

JR長池駅南側周辺については、平成7年度に長池駅周辺整備基本構想・基本計画が策定され、国道24号から駅までのアクセス道路や駅前広場を整備する構想があります。しかし、現在は城陽五里五里の丘の南側区域の供用開始や東部丘陵地の開発が進むなど、計画策定時と比べて地域の状況に大きな変化があります。また、駅南側では長池地域の歴史的背景を生かして地域主導型公共事業による府道上狛城陽線のカラー舗装整備など、長池まちづくり協議会と協働で事業を進めて参りました。

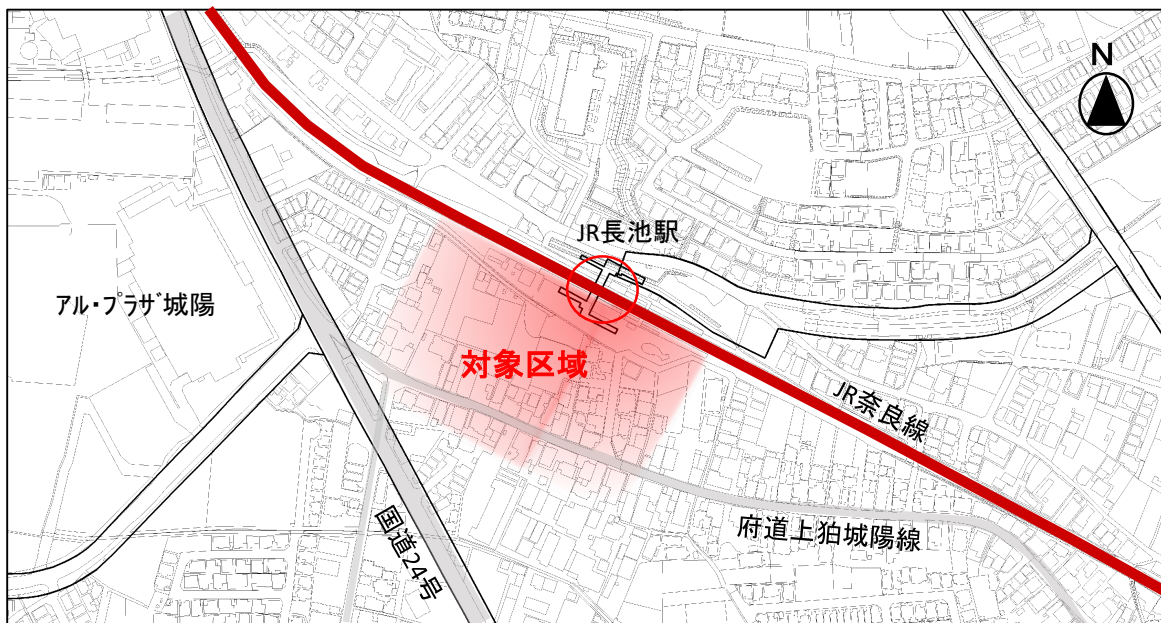
この転機に、これからの長池駅南側のあり方について検討し、かつて宿場町であった長池地域の歴史的背景を生かし、ハード面やソフト面の両面から地域の課題の解決、駅利用者や地域住民の利便性向上を図ることを目的とします。

■ 長池地域における取組状況

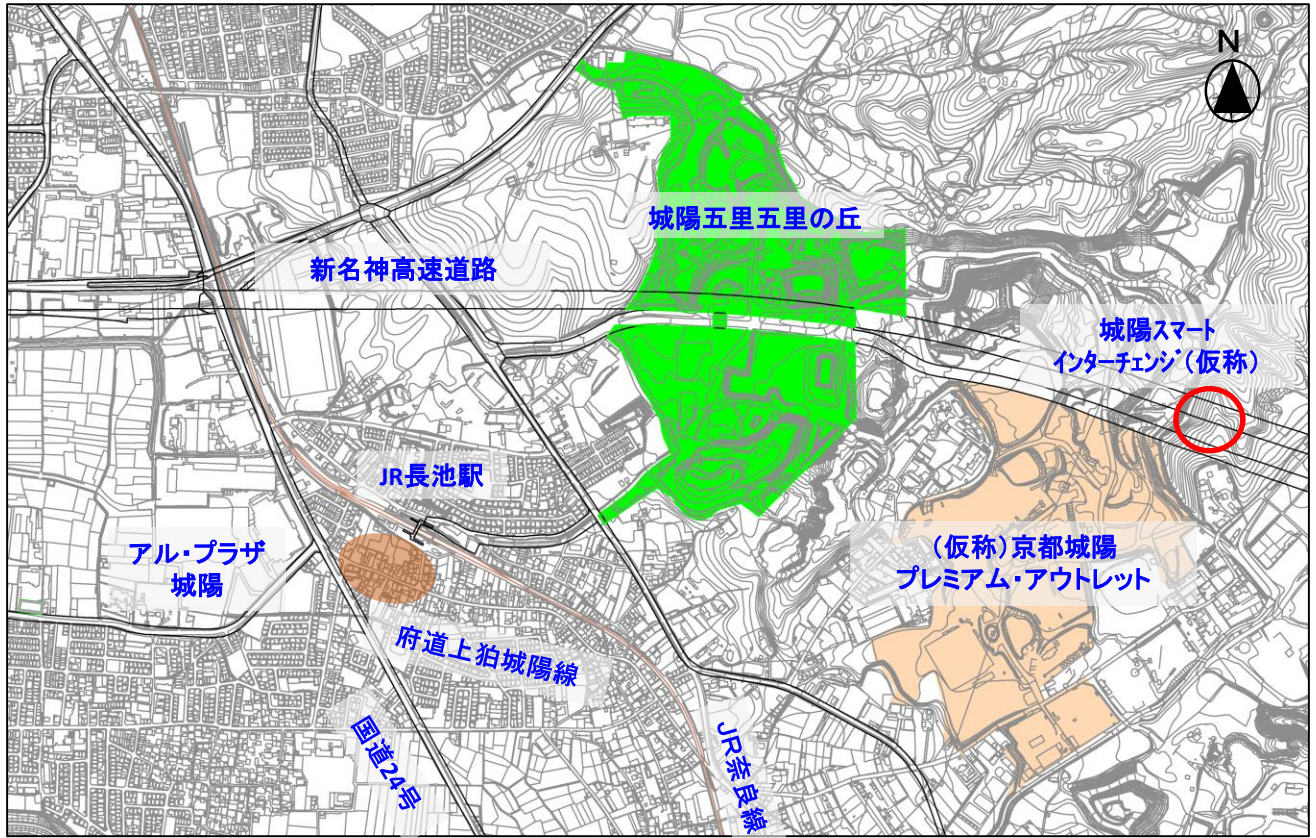
平成 8年 3月	長池駅周辺整備基本構想・基本計画を策定
平成 21～24年度	都市再生整備計画事業により長池駅橋上駅舎・自由通路完成
平成 25年 7月	地域住民が主体となって長池まちづくり協議会を発足
平成 26年 3月	長池地域まちづくりビジョン作成 (長池まちづくり協議会作成)
平成 26年 12月	地域主導型公共事業採択 (府道上狛城陽線のカラー舗装など実施)

■ 基本計画策定の対象区域

基本計画策定の対象区域は長池駅南側周辺の区域とします。

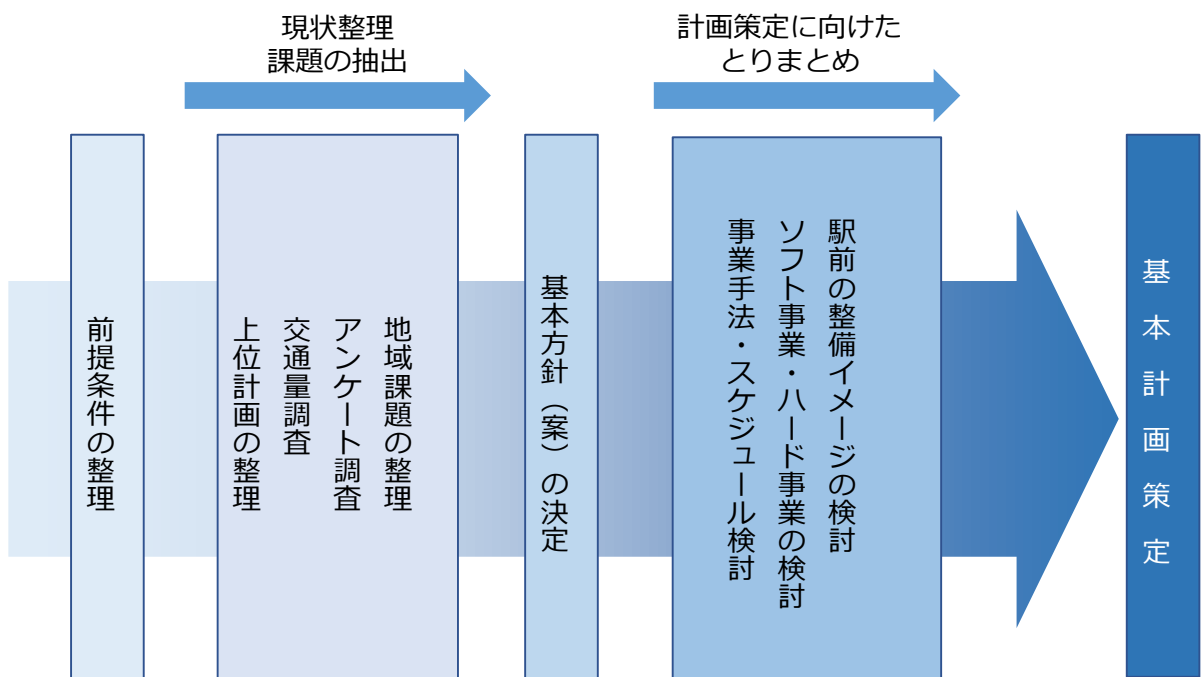


■ 長池駅周辺の広域図



■ 基本計画策定に向けたフロー

「基本計画」の策定に向けては、以下のフローに基づき実施します。



1. 上位計画について

長池地域は、上位計画に下記のとおり位置付けられています。

■ 城陽市の上位計画

第4次城陽市総合計画

長池駅周辺整備については、駅南側の交通結節機能として駅前広場・アクセス道路等の整備の検討に取り組み、東部丘陵地の玄関口としての機能を備えた、市南部地域の中心地区として、地域住民と協働し駅周辺地域の活性化に努めます。

(出典「第1章 第3節 駅を中心としたまちづくりを推進する」)

城陽市都市計画マスタープラン

長池駅周辺地区は、「長池・富野荘地域」として下記のまちづくりの方針が示されています。

(出典「第5章 5. 2各地域のまちづくり方針」)

【地域の課題】

- 視点：広域交通ネットワークの整備を活かしたまちづくり
- 東部丘陵地への玄関口としての交通結節機能の向上
- 既存の工業集積地における生産環境の維持・向上

【まちづくりの方針】

東部丘陵地と連携した、来訪者を呼び込むまちづくり

東部丘陵地への玄関口となる長池駅周辺において、南側駅前広場や駅へのアクセス道路の整備、また片奈連絡線の整備を促進するなど、交通結節機能を強化し、東部丘陵地とをつなぐ大きな人の流れを形づくることをめざします。

国道24号沿道においては、都市計画制度などを利用し、既存の工業集積地の生産環境の維持・向上をめざします。

● 視点：住みよい・住みたいまちづくり

- 既存の大型商業施設をはじめとする集客機能の維持・向上
- 長池駅周辺の魅力あるまちづくり
- 富野荘駅周辺における道路の利便性・安全性や生活環境の向上
- 木津川、今池川、長谷川の治水対策・維持管理

● 長池駅および富野荘駅を中心とした、市内外から利用しやすいまちづくり

長池駅周辺の整備により、既存の大型商業施設をはじめとした、地域の生活利便性を高める機能の維持・向上をめざします。

長池駅周辺については、地元のまちづくり協議会と連携し、市民協働により魅力あるまちづくりをめざします。

富野荘駅周辺については、道路改良などにより、地域住民にとっての利便性や安全性の向上をめざします。

木津川、今池川および長谷川の治水対策を推進することで、浸水被害を軽減させ、継続的な維持管理により安全性の向上をめざします。

◆ 視点：豊富な地域資源を保全・活用したまちづくり

- ◆ 豊かな自然環境の保全および自然と共生したまちづくりへの活用

◆ 豊かな自然に囲まれた、ゆとりのあるまちづくり

住宅地を取り囲む木津川や田園、森林など豊かな自然環境を今後も保全し、快適でゆとりの感じられるまちづくりをめざします。

2. 長池駅南側周辺の交通量調査の結果

調査目的

長池駅周辺の現状の交通量や流れを把握することで、基本計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

調査対象

自動車・歩行者（自転車含む）

調査時期

平成30年11月21日 7時から19時（12時間交通量）

ここでは、調査結果の中から**特徴的な部分**を**抜粋**します。

■ 荒見田交差点から国道24号及び府道上粕城陽線へ向かう自動車交通量

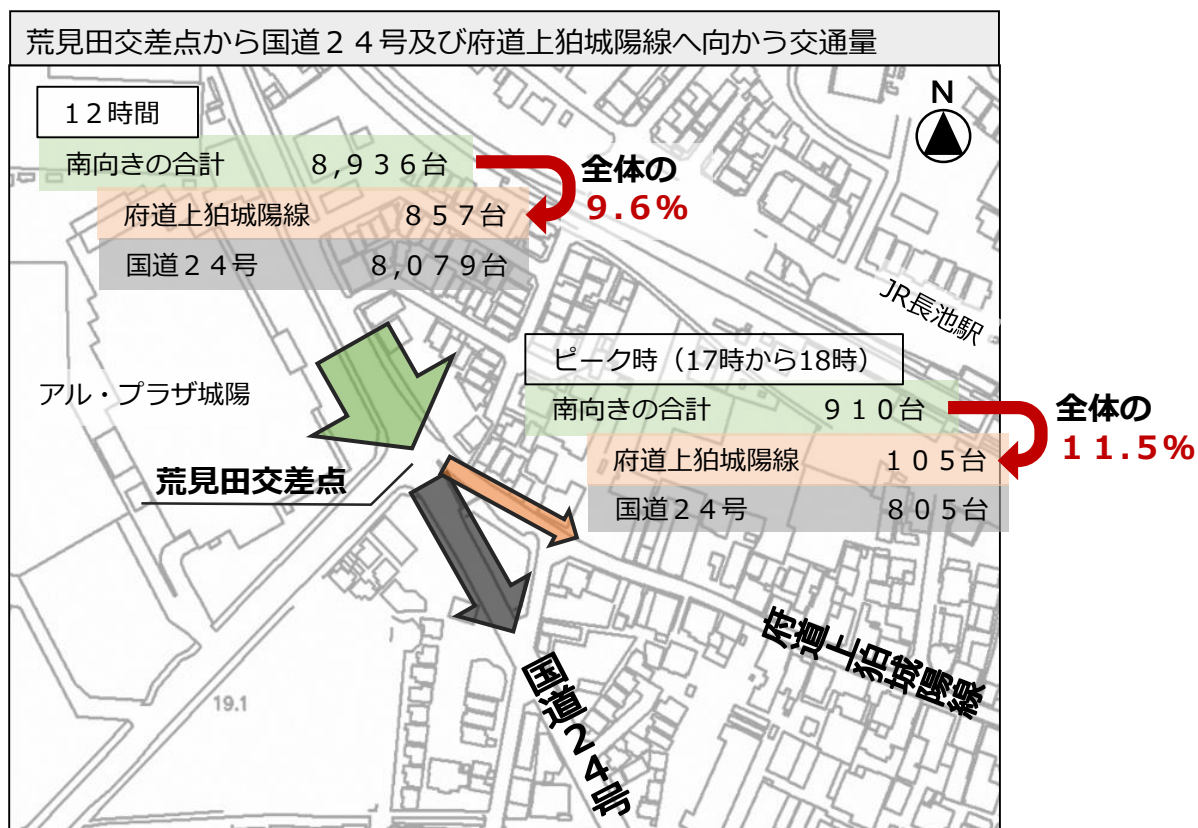
結果

荒見田交差点から南へ向かう自動車の内、**府道上粕城陽線へ向かう交通量の割合**は、12時間の合計（9.6%）に比べて**ピーク時***（**11.5%**）の方が多くなっていることがわかりました。

考察

結果より、国道24号が混雑している時間帯は、荒見田交差点から**府道上粕城陽線へ向かう自動車交通量が増加**していると推測されます。

※ピーク時：調査した1日の中で**最も交通量が多かった時間帯**



2. 長池駅南側周辺の交通量調査の結果

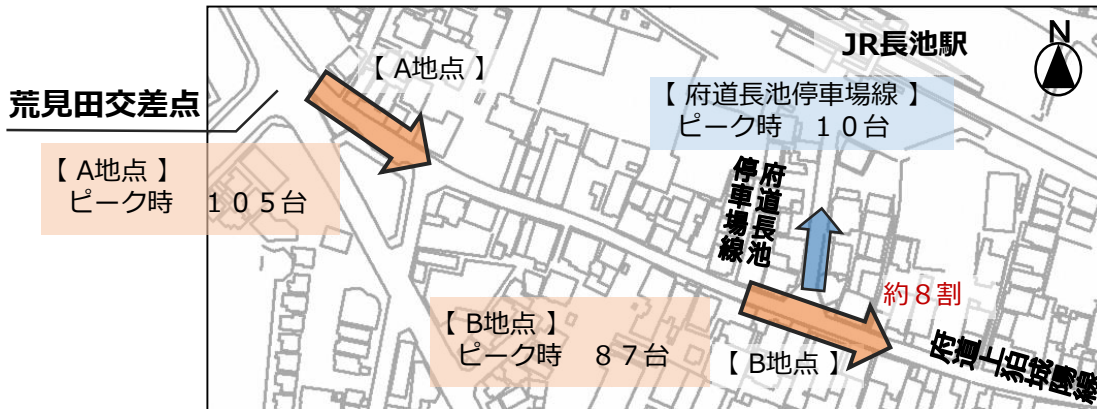
■ 府道上狛城陽線から長池停車場線への交通量

結果

ピーク時に荒見田交差点から府道上狛城陽線を通行する自動車について、**約8割**がJR長池駅方面へ向かうことなく府道を通行している。

考察

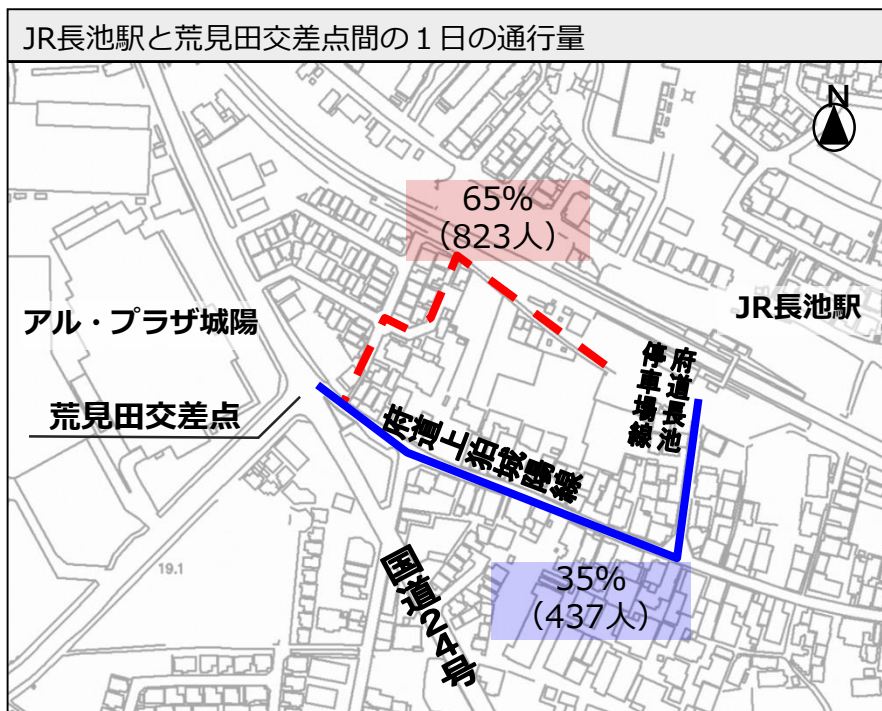
結果より、**国道24号の混雑を避けるため**に府道上狛城陽線を通行していることが推測されます。



■ JR長池駅と荒見田交差点間の歩行者通行量

結果

JR長池駅と荒見田交差点の間を通行する歩行者は、約65%が線路沿いの通路を通行しています。



3. 長池駅南側周辺整備基本計画策定に関する「アンケート調査」の結果

調査目的

長池駅南側周辺整備基本計画の策定にあたり、地域住民や駅利用者の意見について把握することを目的とする。

住民向け

調査対象

長池駅周辺に住民票を置いている
16歳以上（令和2年7月1日時点）
1,000人を無作為に抽出

調査時期

令和2年8月1日から8月31日

回答率

555件 / 1,000件
(回収率：55.5%)

駅利用者向け

調査対象

JR長池駅利用者

調査時期

令和2年9月24日

回答率

139件 / 525件
(回収率：26.5%)

ここでは、調査結果の中から**特徴的な部分**を抜粋します。

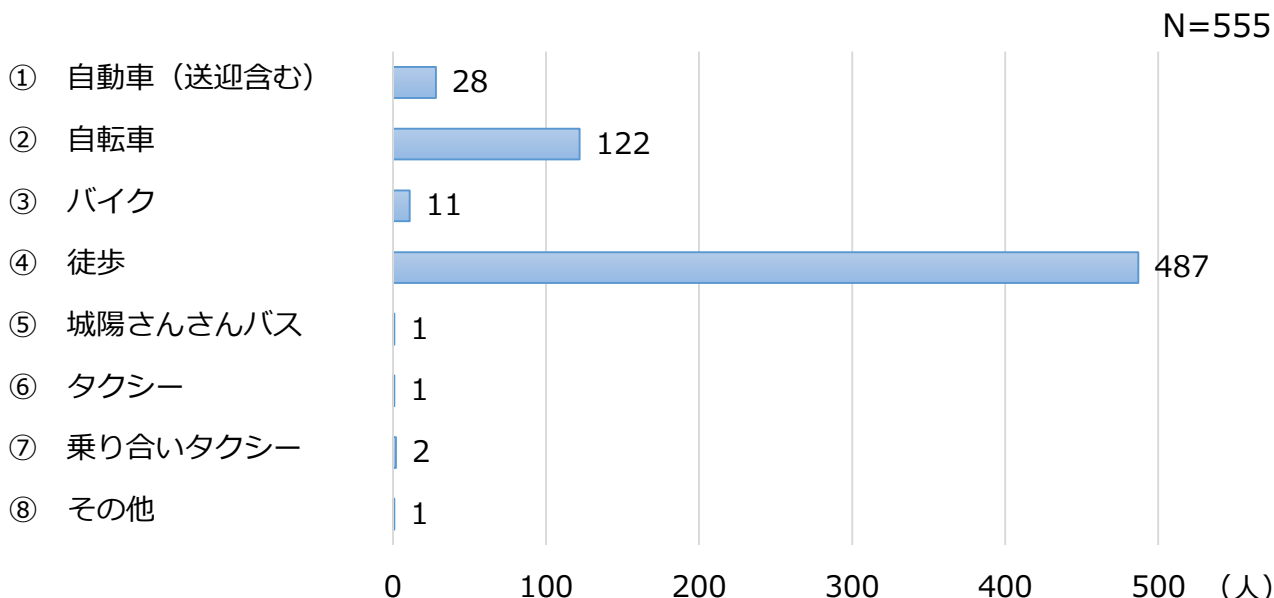
■ JR長池駅までの主な移動手段（住民アンケート問2-3）

長池駅周辺の整備イメージの参考とするため、JR長池駅を利用する人の移動手段の傾向を見ています。

結果

JR長池駅までの移動手段は、ほとんどの人が**徒歩又は自転車での利用**となっています。次に、自動車、バイクの利用となっています。

※ 複数回答



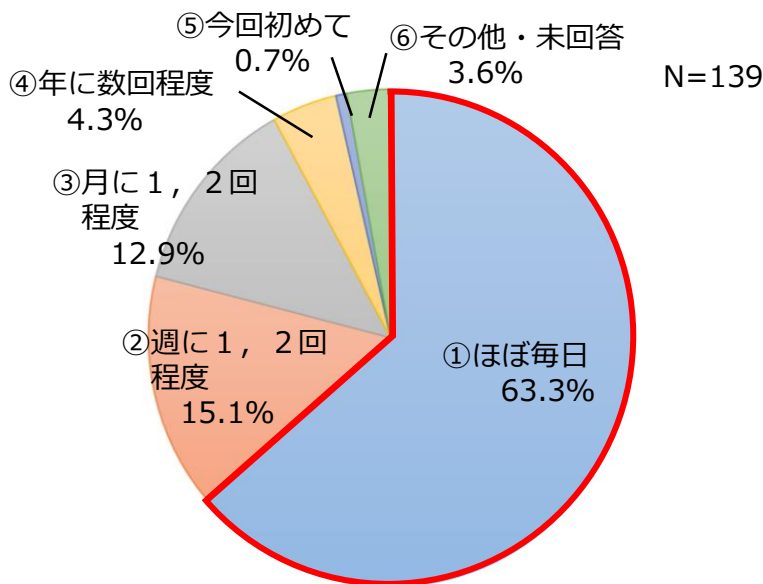
3. 長池駅南側周辺整備基本計画策定に関する「アンケート調査」の結果

■ JR長池駅を利用する頻度（駅利用者アンケート問2-1）

JR長池駅利用者の駅を利用する頻度の傾向を見ています。

結果

JR長池駅利用者では、ほぼ毎日利用される方が約6割います。月1, 2回程度以上利用される方は、約9割います。

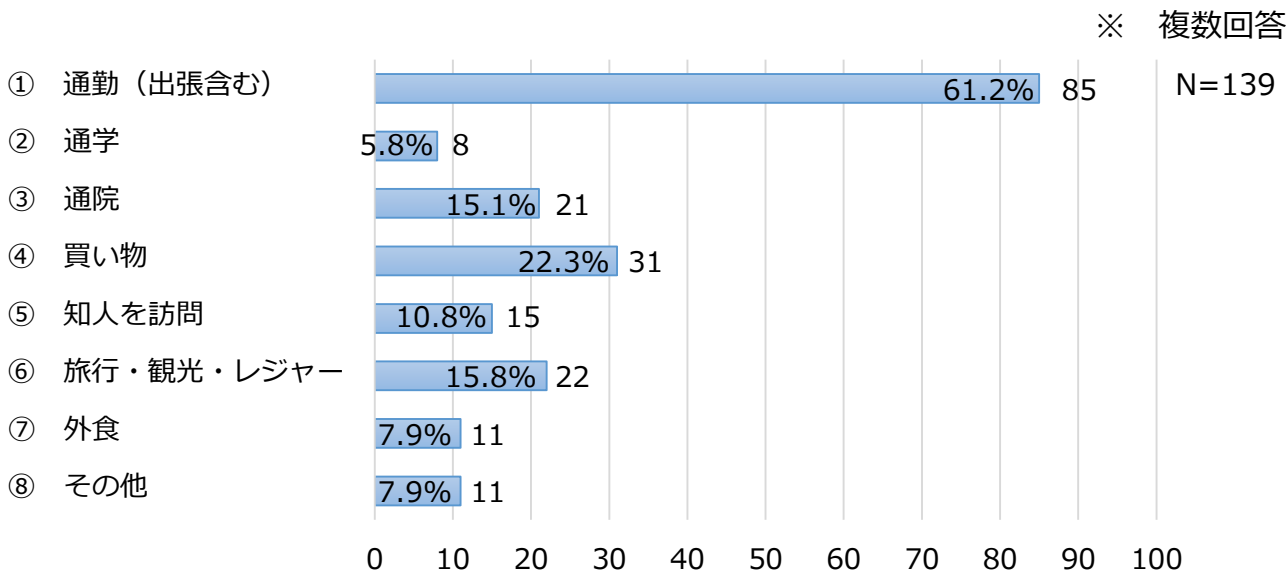


■ JR長池駅を利用する目的（駅利用者アンケート問2-2）

JR長池駅利用者の駅を利用する目的の傾向を見ています。

結果

JR長池駅では、「①通勤」での利用者が約6割います。以下、「④買い物」、「⑥旅行・レジャー」の順となっています。



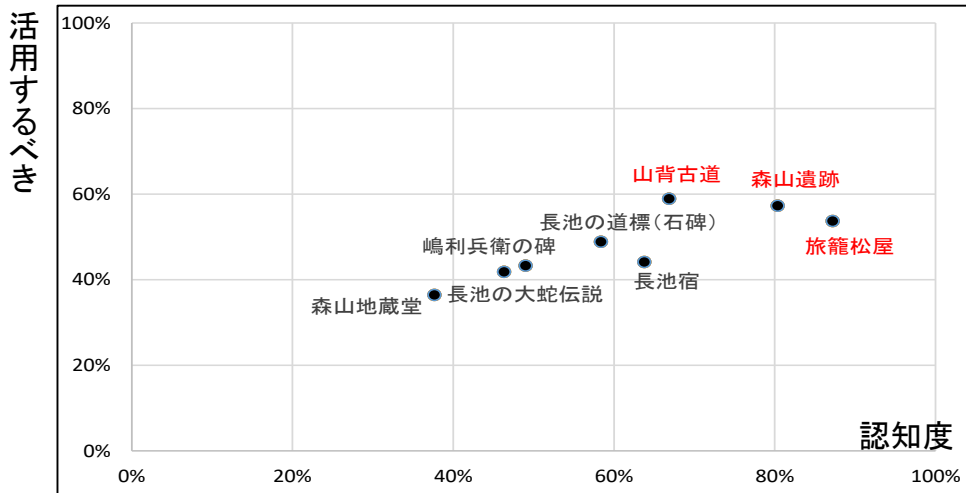
3. 長池駅南側周辺整備基本計画策定に関する「アンケート調査」の結果

■ 地域資源の認知度と今後活用すべきかどうかについて（住民アンケート問4-3）

地域資源の認知度と観光資源として活用するべきかについての設問から、地域資源に対する意識の傾向を見ています。

結果

地域資源の認知度が高いものと活用するべきものがほぼ比例しており、山背古道や森山遺跡、旅籠松屋が特に高い結果となっています。



森山遺跡



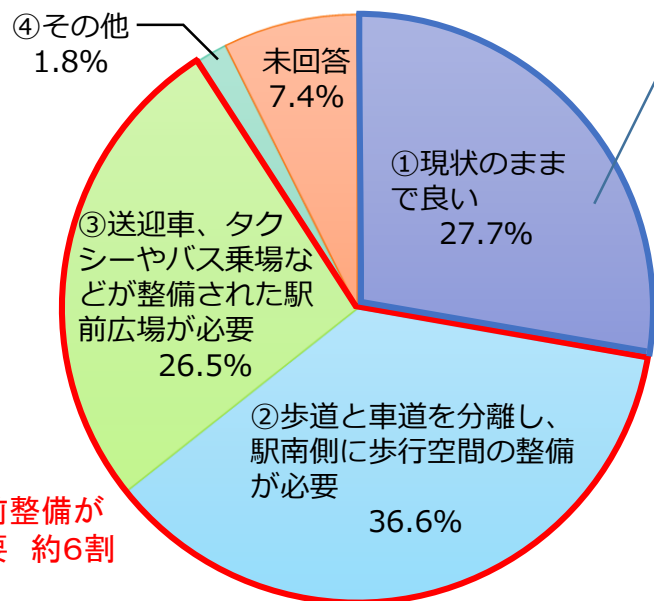
山背古道

■ JR長池駅南側に必要な駅前整備のイメージについて（住民アンケート問2-1,問4-1）

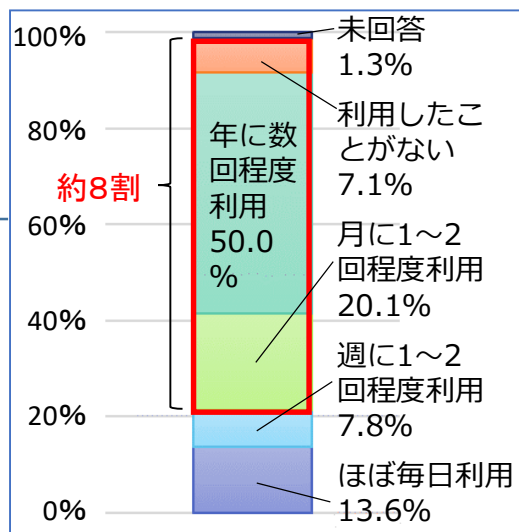
望まれている駅前整備のイメージは、JR長池駅の利用頻度による特徴が表れるかを見ています。

結果

駅前整備イメージでは約6割の方が駅前整備が必要と回答しています。



駅前整備が必要 約6割



考察

長池駅の利用頻度が比較的少ない約8割の方が「現状のままで良い」と回答しています。

3. 長池駅南側周辺整備基本計画策定に関する「アンケート調査」の結果

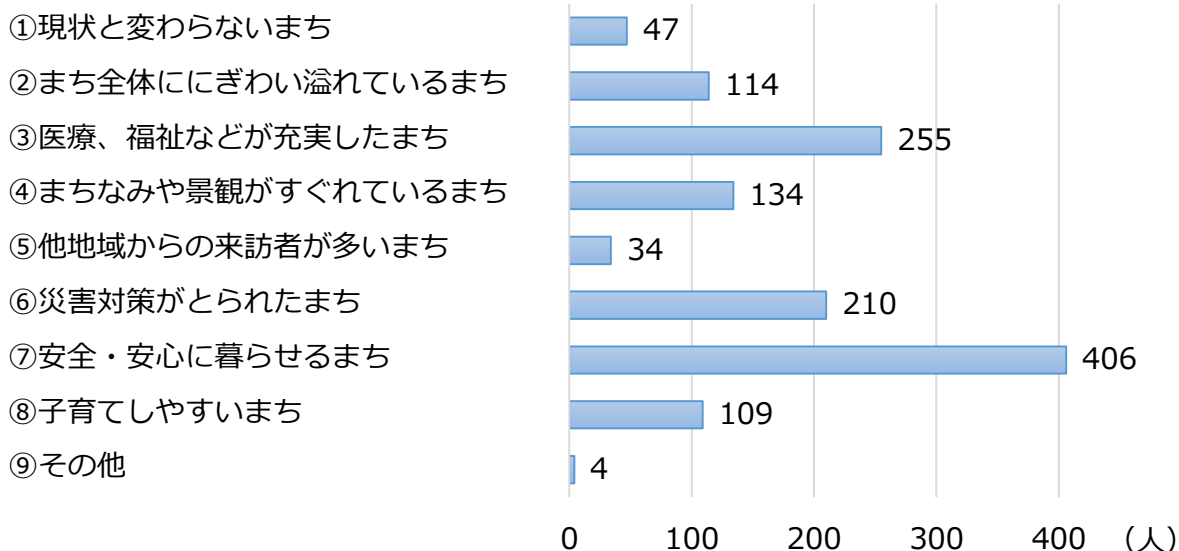
■ 10年後どのようなまちになって欲しいか（住民アンケート問4-7）

望まれているまちのイメージについて傾向を見ています。

結果

地域住民が思う10年後どのようなまちになってほしいかのイメージは、「⑦ 安全安心」を望む回答が7割を超えて特に高くなっています。次いで、「③ 医療福祉」、「⑥ 災害対策」、「④ 景観」、「② にぎわい」となっています。

複数回答



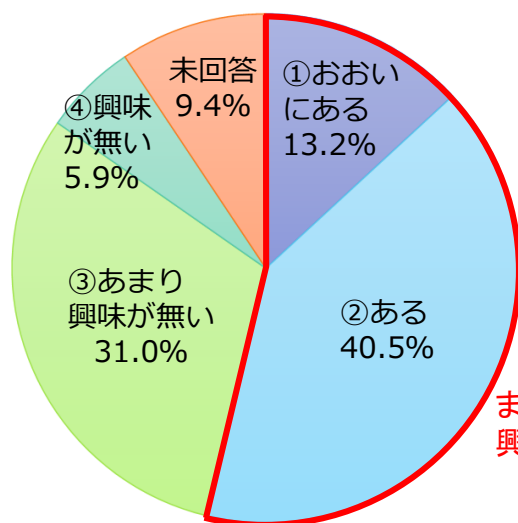
N:555

■ まちづくりに興味がありますか（住民アンケート問5-1）

まちづくりに興味があるかどうかについての設問から傾向を見ています。

考察

まちづくりに興味がある人は5割を超えています。今後も地域住民の方々と協働でまちづくりを行っていくことが必要です。



まちづくりに興味がある人



3. 長池駅南側周辺整備基本計画策定に関する「アンケート調査」の結果

■ 「地域の自慢と弱み」及び「10年前と比較した地域の良し悪し」について (住民アンケート問1-6,問1-7,問4-4,問4-5)

住民の方々が感じている地域の状況をもとに、地域の特徴を見ています。

考察

「地域の自慢と弱み」と「10年前と比較した地域の良し悪し」を組み合わせることで、地域活性化に必要な項目を分類します。

a. 現状の評価が高く、良い状態を維持している項目
買い物の利便性、まちなみや景観、住みやすさ

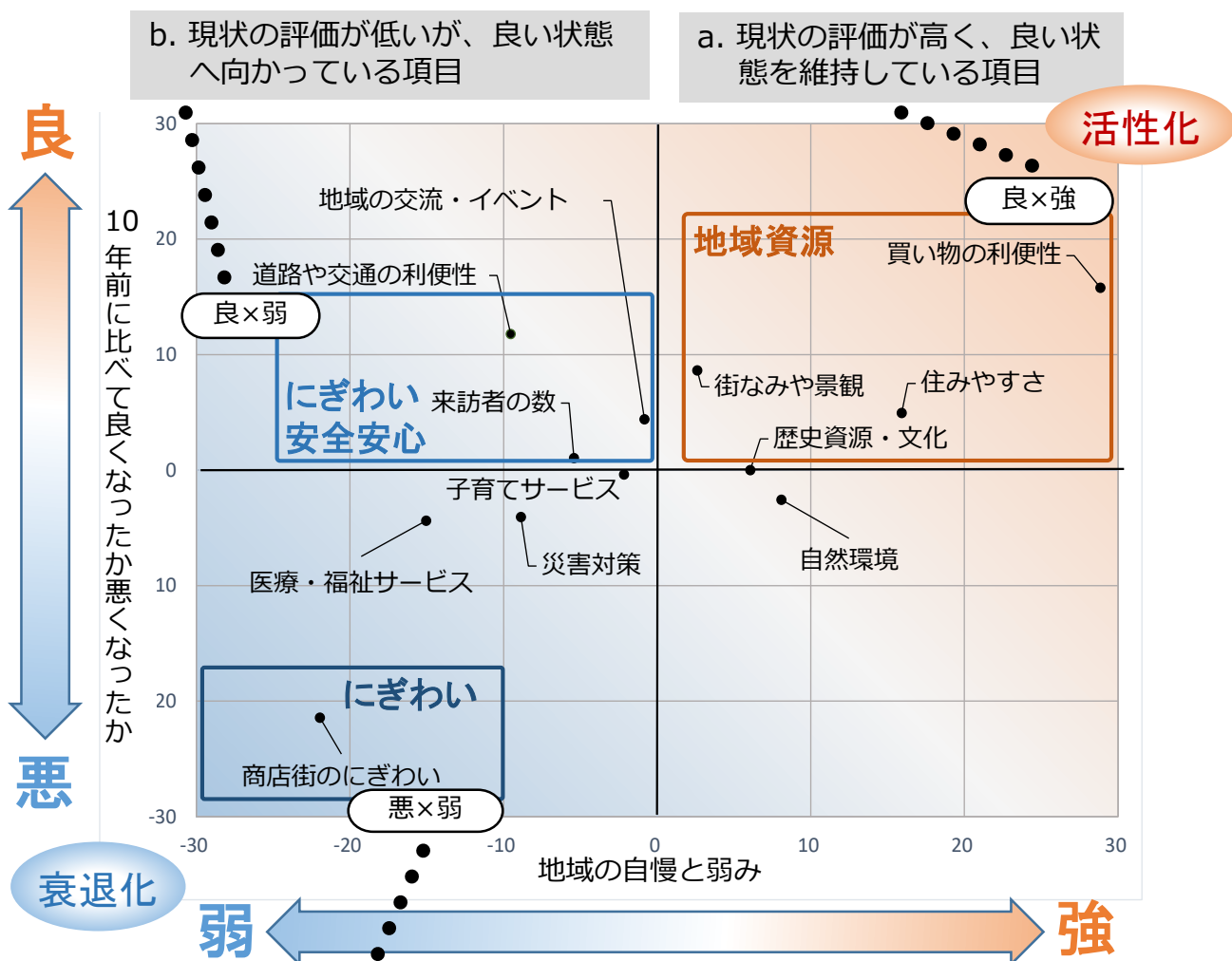
地域資源 引き続き維持

b. 現状の評価が低いが、良い状態へ向かっている項目
道路や交通の利便性、来訪者数、地域交流・イベント

にぎわい さらに力を入れる必要がある
安全安心

c. 現状の評価が低く、良くない状態が続いている項目
商店街のにぎわい

にぎわい 何らかの施策が必要である



c. 現状の評価が低く、良くない状態が続いている項目

4. 基本計画策定に向けた方針について

これまでの検討の経緯（上位計画、交通量調査、アンケート調査）を下記のとおりまとめました。

■ 上位計画

- ✓ 交通結節機能の向上
- ✓ 地域の生活利便性を高める機能の維持・向上

■ 交通量調査

【自動車交通量】

- ✓ 荒見田交差点から南へ向かう自動車について、国道24号の交通量が多い時間帯に府道上狛城陽線への交通量が増加する傾向があることから、国道24号の混雑を避けるために府道上狛城陽線を通行していると推測できます。

【歩行者交通量】

- ✓ JR長池駅と荒見田交差点の間を通行する歩行者について、府道上狛城陽線よりも線路沿いの通路を通行する割合の方が多くなりました。

■ アンケート調査

【住民アンケート】

- ✓ JR長池駅利用者の駅までの移動手段は徒歩または自転車での利用がほとんどになりました。
- ✓ 地域資源について、認知度が高いものほど観光資源として活用するべきであるとなりました。
- ✓ JR長池駅南側について、約6割の方が駅前整備が必要であると回答がありました。一方で、「現状のままで良い」と回答したうちの約8割は駅の利用頻度がほとんどない方となりました。
- ✓ 10年後「安全・安心に暮らせるまち」を望む方が7割を超えました。
- ✓ 「買い物の利便性」や「住みやすさ」などの地域資源について、現状の評価が高く良い状態を維持している結果となりました。
- ✓ 「地域の交流・イベント」「道路や交通の利便性」といったにぎわいや安全安心について、現状の評価が低いが良い状態へ向かっている結果となりました。
- ✓ 「商店街のにぎわい」については、現状の評価が低く、良くない状態が続いている結果となりました。

【駅利用者アンケート】

- ✓ JR長池駅利用者の約6割はほぼ毎日利用しています。
- ✓ JR長池駅利用者の約6割は通勤目的で利用しています。

4. 基本計画策定に向けた方針について

JR長池駅周辺にかかるこれまでの背景や現状を踏まえ、下記のとおり3つの基本方針(案)を作成し、計画策定に向けて進めていくこととします。

基本方針(案)

1. 長池の魅力を引き出し **にぎわい**を創出する

2. 地域住民が**安全安心**に暮らせるまちづくり

3. **地域資源**を活用した取組を推進する

さまざまな人と人が 交流広場や歴史街道から
つながり 歴史を感じられる宿場町「長池」

1. 長池の魅力を引き出し **にぎわい**を創出する

※写真はイメージです

例えば…

- ・人々が集まり、交流できる広場を整備することでにぎわいの中心となる拠点をつくります。
- ・民間活力による柔軟な発想や企画力を取り入れることで、にぎわいの創出を図ります。



JR長池駅
「おこしやして長池へ」

2. 地域住民が**安全安心**に暮らせるまちづくり

例えば…

- ・地域住民が安全に通行できる歩行空間を確保します。
- ・災害時に一時利用できる施設を備えた空間を整備します。

3. **地域資源**を活用した取組を推進する

例えば…

- ・地域資源を活用し、駅周辺に歴史的なイメージの定着や長池の認知度向上を図ります。
- ・地域住民などが長池の魅力を発信することのできる場をつくります。



府道上粕城陽線
道路の美化化